



ディエゴ・ソーサ

Chubb 損害保険株式会社

代表取締役社長 兼 CEO

チャブ・ファー・イースト リージョナル・プレジデント

ごあいさつ Message from the CEO

不確実かつ複雑な時代においても、 将来を見据え成長し続けてまいります。

2021年は純利益、営業利益、保険引受利益、投資利益ともに過去最高を記録するなど、全世界で素晴らしい成績を収め、チャブ・グループにとって歴史的な1年となりました。チャブ・グループは、株式時価総額において世界最大級の上場損害保険会社の座を維持し続け、過去17年間で8倍となりました。

世界的なパンデミックが想像以上に長く影響をおよぼし、市況は未だ通常どおりとは言えない状態が続いています。パンデミックにより経済と社会に混乱が生じ、その結果として人々が抱える苦悩、社会不安、サプライチェーンの機能不全などさまざまな問題が生じています。また特にヨーロッパで起こっている戦争など、私たちは不確実かつ複雑な時代を生きています。しかしその一方においてはこのような時代ゆえの新たな機会も見受けられ、チャブ・グループはそれを最大限に活用できるよう努めています。

個人消費および旅行は、概ね新型コロナウイルス感染症の発生前の水準に戻ると考えています。またビジネスのデジタル化を推進することで、今後長きにわたり競争上優位に立つことができると考えます。チャブ・グループは、企業と個人の両方のお客様に焦点をあて顧客体験を向上させ、商品やサービスの提供を効率化するための変革をめざしこれまで以上に投資を行ってまいります。

一方チャブ・ジャパンにおいては、このような状況のもとチャブ・グループの他の地域の会社と同様、業務および技術面での向上を

図るため多くの計画を前倒しで進めてまいりました。その結果、販売パートナーのご尽力や従業員の取り組みも相まって、今回のパンデミックの際にも大きな影響を受けることなく商品やサービスをお客様へシームレスに提供することができました。

その成果は業績に反映されています。当社ではほとんどの保険種目および販売チャネルで素晴らしい結果を残すことができ、堅調に成長し続けています。当社の保険引受利益は42億円、税引後純利益は28億円となりました。また当社のソルベンシー・マージン比率は、業界トップクラスの1,210.1%となり、引き続き良好な資本状態と十分な保険金支払い能力を裏づける結果となりました。

このように当社は短期的に利益を生み出すだけでなく、将来を見据え成長し続けていくことができる状況にあると確信しています。明確な目標と計画に基づき、グローバルと日本国内のネットワークおよびリソースを活用し、継続的に商品とサービスの改善を図り日本一の外資系損害保険会社となるべく邁進いたします。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

